



病院概要

病 院 名 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

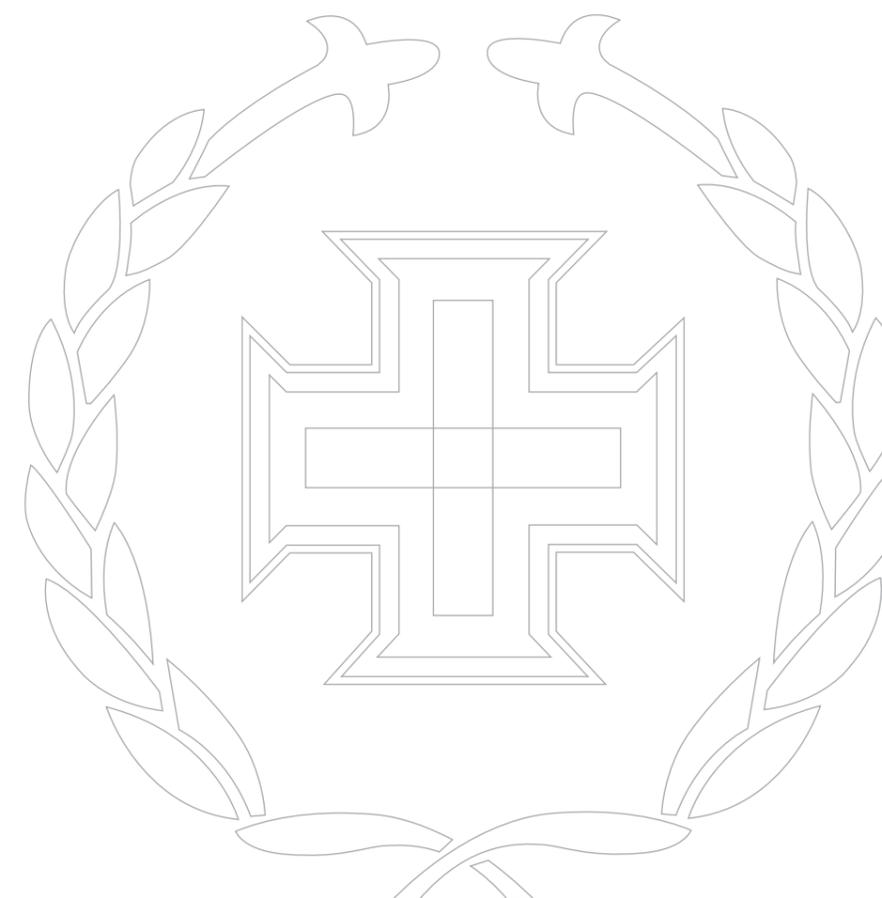
標 榜 診 療 科 小児科 / 小児外科 / 内科 / 糖尿病内分泌内科 / 循環器内科 / 心臓血管外科 / 小児循環器内科 / 神経内科 / 消化器内科 / 消化器外科 / 外科 / 脳神経外科 / 脳血管内科 / 移植外科 / リウマチ科 / 呼吸器内科 / 呼吸器外科 / 整形外科 / 形成外科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 腎臓内科 / 産婦人科 / 血液内科 / 緩和ケア内科 / 放射線治療科 / 乳腺外科 / 精神科 / 眼科 / 耳鼻いんこう科 / 救急科 / 透析内科 / リハビリテーション科 / 放射線科 / 麻酔科 / 病理診断科 / 腫瘍内科 / 歯科 / 歯科・口腔外科 / 小児歯科 / 矯正歯科

病 床 数 1,097床

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 臨床・教育・研究本部
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422

TEL : 0942 - 35 - 3322 FAX : 0942 - 34 - 3065

<http://www.st-mary-med.or.jp>



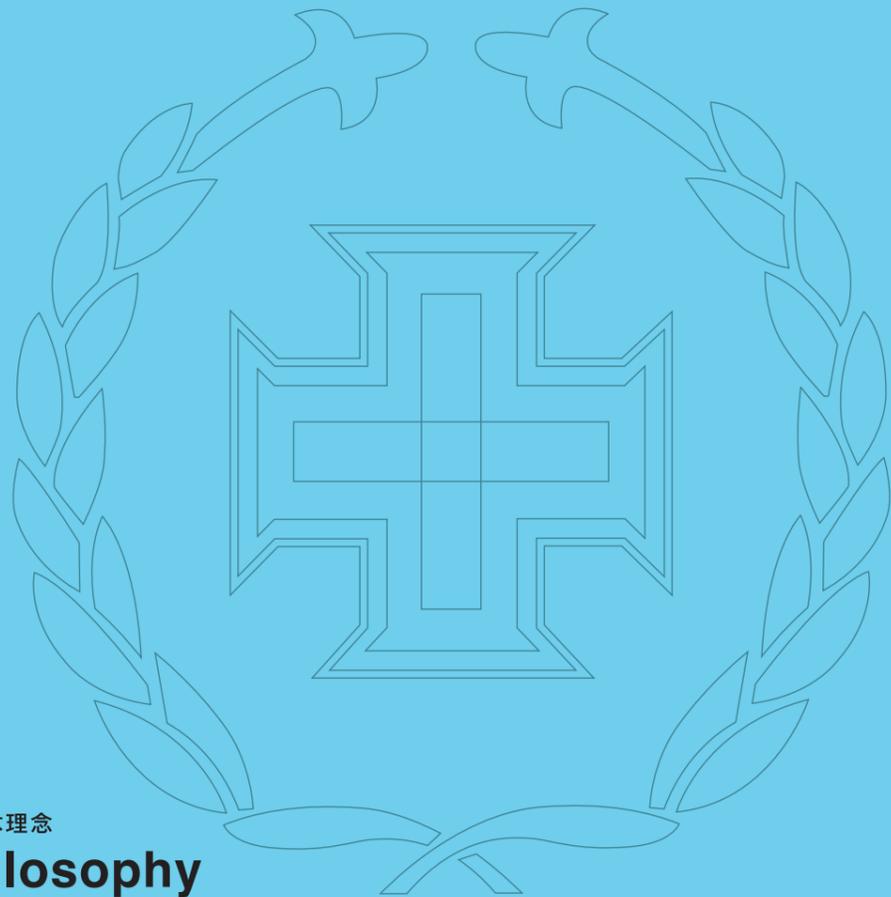
聖マリア病院
St. Mary's Hospital



社会医療法人
雪の聖母会 聖マリア病院
病院長

島 弘志

聖マリア病院に於ける初期臨床研修では、常に自己研鑽を行う事を推奨しています。自分自身の知識、技術が高まり、医師としての資質が向上する事で患者さんへ提供する医療の質が上質のものになっていく事を実感できると思います。自信と誇りを持って患者さんと接する事が出来るようにプログラムされており、将来の日本の医療を担う優秀な人材を輩出しています。共に学ぶ同期の仲間や二年次の研修医、そして指導する上級医との出会いは、かけがえの無い人生の財産になると思います。専門医を目指す専攻医の皆さんは、内科、外科、小児科、救急科においては基幹病院として研修することが出来るようになっており、数多くの症例を経験することで専門医への道が開かれています。患者さんに寄り添って患者さんに何を成すべきかが分かる本物の医師を目指していく病院だと自負しています。患者さんの為に良い医療を提供したいという情熱のある先生方の参入を心からお待ちしております。



P 基本理念 philosophy

病院理念を理解し、常に医療を受ける人々の立場にたち、
地域医療に貢献できる医師になるようプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけ、
優れた人間性を備えた医師を育成する。

P 基本方針 olicy

- 医師として社会的役割を自覚し、地域の医療施設と連携・協力し、自ら学び成長し続ける医師を育てる。
- プライマリ・ケアの基本的な診療能力を幅広く備えた医師を育てる。
- チーム医療のリーダーとして、患者、患者家族、医療スタッフの人格を尊重しつつ、方向性を示し、医療レベルの向上に貢献できる医師を育てる。

Junior Resident

初期臨床研修医





初期臨床研修
プログラム責任者
古賀 仁士

当院は福岡県南部の地域中核病院として初期救急から3次救急まで幅広い疾患を対象に、専門性・緊急性の高い疾患を扱うだけでなく、common diseaseに至るまで指導医と共に研修医が直接タッチすることができます。医学は経験の学問です。当院で幅広く経験を積むことにより、後の専門医研修にもつながる効果的な研修が可能です。

初期研修医としての2年間は多くの疾患、多くの患者、初めての経験に戸惑うことも多いでしょう。だからこそ積極的にチャレンジできる貴重な時間でもあります。この期間に、できるだけ多くの症例にあたり、自ら考え、疑問があれば周りの指導医やメディカルスタッフと共に徹底してディスカッションすること。決して受け身にならず、積極的な姿勢で研修に励んでもらいたと思います。

また、当院では最近の働き方改革を考慮し、研修医のワークライフバランスを重視した、効率よい研修ができるプログラムを考えています。ON/OFFはしっかりした研修を行いながら、いかに多くの症例経験を積むことができるか、ということを日夜工夫してきました。最後に、これから医師としての第1歩を踏み出す、意欲ある皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

聖マリア病院研修の特徴 Features

- 救急車の受け入れ台数年間1万件以上!ファーストタッチで身につく高い総合診断能力
- プライマリ・ケアを基本目標に診察・一般治療・検査技術を徹底指導
- 新専門医制度にも有利な圧倒的症例数
- 各診療科の垣根が限りなく低く、気軽にコンサルテーション依頼できる環境
- ピットフォールを見逃さないトレーニングで現場対応能力が身につく
- 総合性 (generalist) と専門性 (specialist) の両立
- 同期が多く (定員17名) 研修やその他の悩みを共有し切磋琢磨できる
- 電子カルテ用PCは1人に1台、広々とした研修医フロアが研修環境をさらに快適に

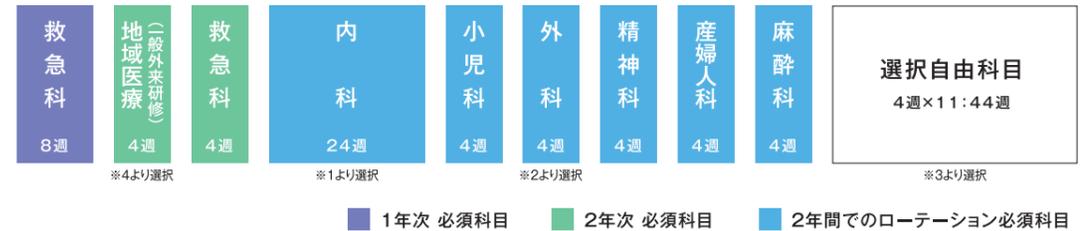
Night Shift 夜勤体制

- ER夜勤・内科夜勤合わせて月に4、5回程度
- 日曜日に勤務を行った際は、別日で休日を取得可能
- ER夜勤・内科夜勤は指導医に加え、研修医各2名ずつ (2年次1名、1年次1名) の体制

ER夜勤	17:00~翌日9:00まで勤務 ※ ER夜勤明けは必ず休み
内科夜勤	17:00~0:00まで勤務

※ 当院では、当直という言葉は使いません。

初期臨床研修プログラム Program



内科 ※1	消化器内科 / 血液内科 / 呼吸器内科 / 脳血管内科 / 循環器内科 / 糖尿病内分泌内科 / 腎臓内科 / リウマチ膠原病内科
外科 ※2	外科 (消化器外科・乳腺外科・移植外科) / 小児外科 / 心臓血管外科 / 呼吸器外科 / 脳神経外科
全診療科 ※3	上記診療科 (内科・外科) / 小児科 / 小児循環器内科 / 新生児科 / 整形外科 / 形成外科 / 精神科 / 産婦人科 / 眼科 / 耳鼻いんご科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 麻酔科 / 放射線科 / リハビリテーション科 / 病理診断科 / 集中治療科 / 救急科

臨床研修協力施設 ※4 地域医療は下記3病院の●印より選択

- 宗教法人おかげのマリア修道会 聖マリア病院 (長崎県五島市)
- 医療法人三井会神代病院 (久留米市)
- 長崎県 上五島病院 (南松浦群新上五島町)

医療法人聖峰会田主丸中央病院 (久留米市) / 福岡県すこやか健康事業団 (久留米市) / 福岡県立保健福祉環境事務所 (久留米市) / 久留米市保健所 / 福岡県赤十字血液センター (大野城市)

協力型臨床研修病院

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター (佐賀県神埼郡) / 長崎県島原病院 (長崎県島原市)

● Aさんのローテーション例 (内科志望)

	4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
1年次	消化器内科	外科	麻酔科	循環器内科	脳血管内科	呼吸器内科	救急科	小児科					
2年次	腎臓内科	救急科	五島聖マリア病院	精神科	産婦人科	放射線科	糖尿病内分泌内科	消化器内科	脳血管内科	血液内科			

● Bさんのローテーション例 (外科志望)

	4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
1年次	循環器内科	麻酔科	脳神経外科	呼吸器内科	救急科	呼吸器外科	消火器内科						
2年次	外科	救急科	神代病院	脳血管内科	産婦人科	小児科	放射線科	精神科	糖尿病内分泌内科	整形外科			

Exciting challenges await...

St. Mary



Internal Medicine

内科系

糖尿病内分泌内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 脳血管内科 / 呼吸器内科
腎臓内科 / 血液内科 / リウマチ膠原病内科 / 神経内科 / 放射線科 / 感染制御科

Pediatrics & Perinatal Care

小児・周産期

小児科 / 新生児科 / 小児循環器内科 / 産科

Surgery

外科系

消化器外科 / 乳腺外科 / 移植外科 / 心臓血管外科 / 呼吸器外科 / 小児外科 / 脳神経外科
整形外科 / 形成外科 / 泌尿器科 / 婦人科

Emergency Medicine

救急医療

救急科 / 集中治療科

Others

その他

麻酔科 / 精神科 / 眼科 / 皮膚科 / 耳鼻いんこう科
リハビリテーション科 / 病理診断科 / 輸血科 / ホスピス科



詳細はQRコードより
ご覧下さい。



On

Orientation

入職時オリエンテーション

メディカルスタッフからの講義や実技指導、
救急科医からのER患者搬入時の初期対応のレクチャーなど、内容は充実しています。
最終日には歓迎会があり2年次研修医や指導医と話をする機会も設けられています。



Study Groups

研修医勉強会

週に1度研修医が自主的に開催しており、各自の経験した貴重な症例等を発表し、
研修医同士でディスカッションしています。
必要に応じて指導医による研修医向けのレクチャーも開催されます。



Case Conferences

カンファレンス

各科カンファにて症例報告を行ったり、
ER夜勤終了時に振り返りカンファを行ったり、丁寧な指導を受けています。
また、CPCや内科系カンファなどの他職種を交えた検討会も充実しています。



Training

メディカルスタッフ実習

検査技師からの輸血実習やエコー研修、看護師からの技術講習、
薬剤師からの薬剤カンファレンスなど他職種による研修医向けの実習が行われます。



Presentations

学会発表

指導医の手厚いサポートのもと、積極的に学会発表を勧めており、
なかには海外の学会で発表する研修医もいます。
旅費・参加費は病院の規定に従って支給します。



Tutoring

チューター制度

これからの進路について、また研修におけるちょっとした悩み事など、
上級医に気軽に相談することができる環境づくりを心がけています。

Off

Travel

職員旅行

様々なコースから自分の行きたいところを、
自由に選択できるほど行先は充実しており、海外に行くこともできます！
忙しい研修の中でも職員旅行はみんな参加しており、
日頃の研修を忘れて仲のいい同期や家族とリフレッシュすることができます。



Parties

医師部会懇親会

医師部会で夏と冬に行われるビールパーティーでは、診療科の
垣根を越えて指導医と一緒に楽しむことができます♪



Get-togethers

チューターとの懇親会

チューターの先生と一緒に食事に行くこともあります。研修の話だけでなく、
プライベートな話で盛り上がり、距離を縮めるきっかけになっています。



Fitness

健康管理

聖マリアヘルスケアセンターのジムは職員であれば無料で使うことができます。
設備も十分整っており、運動でリフレッシュしたい方はぜひご利用ください！
平日は、リハビリスタッフが毎日アドバイスしています。



Farewell Celebration

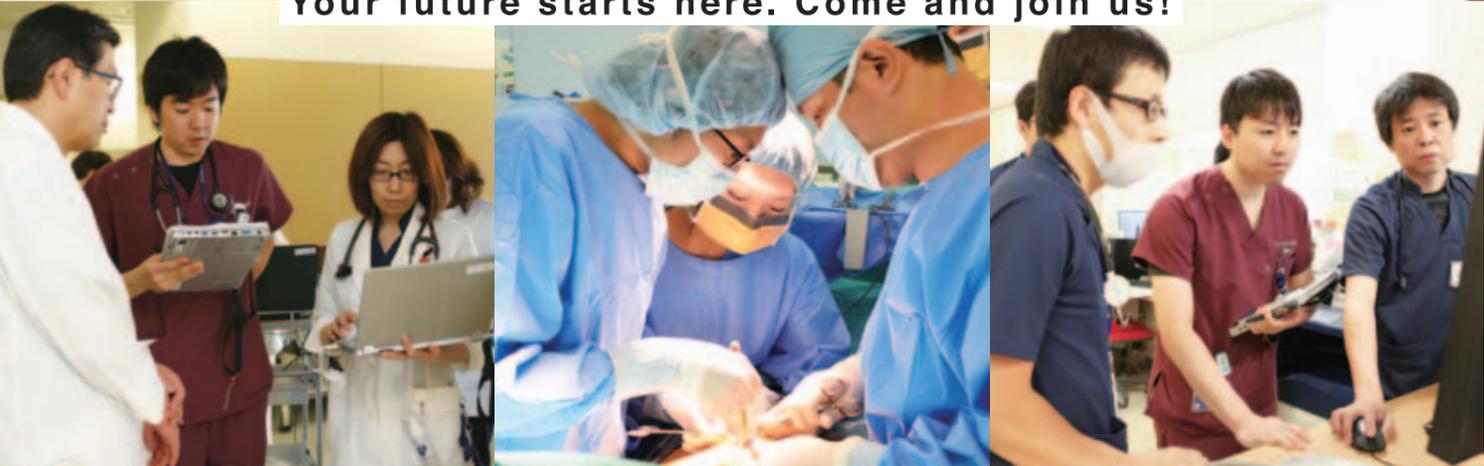
修了式

修了式は当院の教会で行われ、2年間の研修を締めくくります。
その後の祝賀会・二次会は、研修医はもちろん指導医も参加されます。





Your future starts here. Come and join us!



D 宿舎 ormitory



研修医宿舎は病院から徒歩3分。家電が備え付けられており、高度なセキュリティで快適な住まいになっています。

W 研修医室 orkspace



個人の机はもちろん、ラウンジや勉強会を行うスペースもあり充実した研修医のフロアとなっています。

S 給料・処遇 pecs

身 分 研修医(常勤)
 研 修 手 当 1年次 / 約307,300円(月額税込)
 2年次 / 約320,200円(月額税込)
 ※ いずれも時間外手当、夜勤手当等の諸手当別途支給
 賞 与 有
 勤 務 時 間 8:30 ~ 17:00
 休 日 4週8休
 休 暇 有給休暇 / 特別休暇
 社 会 保 険 組合健康保険 / 雇用保険 / 厚生年金保険 / 労災保険
 健 康 管 理 健康診断(年2回)

宿 舎 研修医用宿舎有
 家賃 / 月額28,000円(家電完備)
 そ の 他 学会・研究会での発表の経費(旅費・参加費)は、病院規定により支給
 ● 救急関連資格取得制度
 BLS / 取得必須
 ACLS / 希望者は取得可能 ※ 受講料は病院負担
 ● 共済会制度
 年に1回の職員旅行(国内・海外旅行)等
 医師部会(全体医局会)
 年に2回程度の懇親会
 その他、スポーツ大会の経費補助(野球、テニス、ゴルフ)

T 見 学 our

当院の見学では、指導責任者や研修医と気軽に話ができ、生の声を聞く機会を多く設けております。
 また、遠方の方には病院内のゲストハウスをご準備いたします。
 ご希望に合わせて日程調整しますので、1日からでもお気軽にお問い合わせください。



見学のお申し込みは
こちらから

Senior Resident

専攻医



Becoming a Medical Specialist 専門医への道



臨床・教育・研究本部長
専攻医指導部長
齋 知光

2020年には新専門医制度も3期目を迎えます。専門医機構や各学会の対応は、未だ不十分な部分もありますが、皆さんはしっかりとこれに対応していかなければなりません。当院では数年前より新専門医制度に対応すべく、院内診療科の教育的な整備や事務的人員の確保を行ってきました。大学病院に偏りがちな新専門医制度に対して、市中病院でも豊富な症例を経験でき、効率良く専門医取得が可能な体制を構築してきました。結果的には内科・外科・救急科・小児科の4診療科において専攻医を募集する事になりました。専門医研修は初期研修とは異なり、医師としての自分自身をその道のプロとして磨き上げる最初のステップと言えるでしょう。救急医療が大きな主軸となっている当院は、24時間・365日患者さんを受け入れていますので、その症例数は膨大です。しかし、その症例数だけに惑わされず、自分の医師としての生きる姿勢を探究してもらいたいと思います。診療技術にだけ走らず、むしろ患者さんや周りのメディカルスタッフ、先輩・後輩とのコミュニケーションを大切にできる医師を目指してもらいたいと考えます。すでに当院では、医師のワークライフバランスを考慮した新たな勤務体制で働き方改革にも対応しています。余裕を持ちつつ、かつ十二分な専門医研修が可能な新体制で、意欲ある専攻医の皆さんをお待ちしています。

Features 聖マリア病院専門研修の特徴

- プライマリ・ケアから希少症例まで経験できる豊富な症例数
- 診療科の垣根を越えた患者のためのチーム医療
- お互いが武者修行できる大学との相互連携プログラム
- ドクターヘリや1万台以上の救急車対応で、常に磨ける救急医療経験
- 真の意味で早期退院に直結するリハビリ支援体制（リハビリスタッフ216名）
- 学会発表への積極的支援体制（旅費・参加費サポート）
- 海外での発表や英文論文へのサポート強化（英文校正・掲載料等）
- ON・OFFのメリハリを明確にした、ワークライフバランスに対応した働き方改革
- 女性医師に優しい働き方改革とサポートで無理なく専門医へ（院内保育所・短時間正職員制度）
- 海外短期研修制度（Princess Alexandra Hospital：Brisbane, Australia）



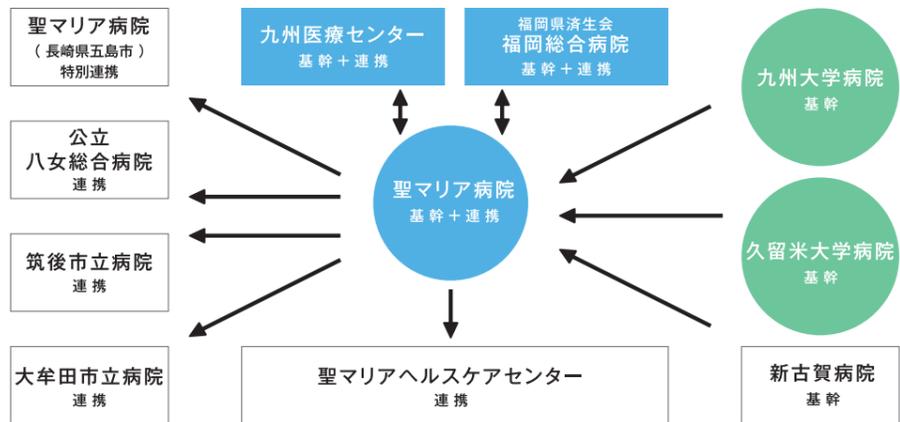
内科専門医研修プログラム

Internal Medicine

消化器内科 / 血液内科 / 呼吸器内科 / 脳血管内科 / 循環器内科
糖尿病内分泌内科 / 腎臓内科 / リウマチ膠原病内科



詳細はQRコードより
ご覧ください。



● 研修プログラム概要・特徴

福岡県久留米市にある聖マリア病院を基幹施設として、福岡県筑後医療圏・近隣医療圏及び遠方にあるものの長期間連携を行っている過疎地の施設を含めた連携施設12施設・特別連携施設1施設で内科専門研修を行います。

内科基本コース（3年）

1年目	2年目	3年目
聖マリア病院（内科領域研修）		連携施設（内科領域研修）

内科Subspecialty重点コース（3年）

1年目	2年目	3年目
聖マリア病院（内科領域研修又はSubspecialty領域研修）	聖マリア病院又は連携施設（内科領域又はSubspecialty領域研修）	

内科基本・Subspecialty混合コース（4年）

1年目	2年目	3年目	4年目
聖マリア病院（内科領域研修又はSubspecialty領域研修）	聖マリア病院又は連携施設（内科領域又はSubspecialty領域研修）		聖マリア病院又は連携施設（Subspecialty領域研修）



内科教育担当責任者
田代 英樹

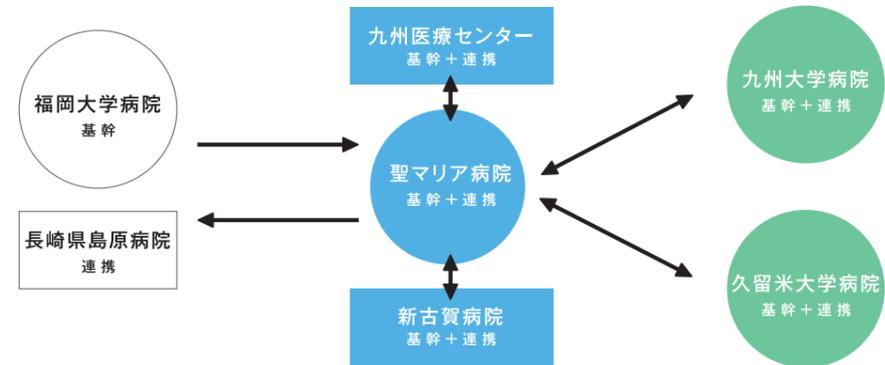
基幹病院である聖マリア病院は年間1万台の救急車搬入件数のある救急病院です。病院には初期救急から3次救急に該当するようさまざまな症例が搬入されてきます。また、8つの専門内科がそれぞれの特徴を生かしながら連携をとってさまざまな症例を治療しています。当院の内科専門医研修では、これらの特徴をいかして専門業務を行いながら、救急症例を経験していくことが可能なプログラムになっています。当院のプログラムの特徴は非常に自由度が高いことがあげられ、それぞれの専攻医の希望と必要度にそった研修が可能です。専門医の取得のための症例に余裕がある専攻医は、希望に応じて専門医研修を受けることも可能です。また、連携病院は高度な医療を提供する病院から地域に密着した病院、僻地医療のために奮闘されている病院などさまざまな病院と連携を組んでいるため、様々な医療を経験することが可能です。皆さんの将来の夢をかなえるために最も適したプログラムを作成していきますので、是非当院の研修に参加してください。

Surgery

消化器外科 / 心臓血管外科 / 呼吸器外科 / 小児外科
乳腺外科 / 移植外科



詳細はQRコードより
ご覧ください。



● 研修プログラム概要・特徴

聖マリア病院を基幹施設とし、連携施設5施設と福岡県内外の特色ある病院と連携を組んだユニークな病院群形態での外科専門研修です。

外科専攻医研修コース(例)	1年目	2年目	3年目
例1	聖マリア病院	連携施設	聖マリア病院
例2	聖マリア病院	連携施設	聖マリア病院
例3	聖マリア病院	連携施設	聖マリア病院

2018年度手術数

消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科	乳腺外科	計
1,031	189	173	439	65	1,897

< 各科からのメッセージ >

- 外科は、消化管、肝胆膵、乳腺外科、救急・一般外科、移植外科に分かれ、各分野をローテーションで研修できます。2018年外科手術数は1031例で、癌手術から緊急手術まで、幅広い分野の症例を経験できます。専攻医は年間80例以上の手術執刀を経験することができます。（外科 / 緒方 俊郎）
- 血管の処理は外科の基本と言えます。血管の処理の基本を学び、心臓の手術は人工心肺装置を使います。他の外科にないチーム医療を学びます。（心臓血管外科 / 安永 弘）
- ロボット手術から論文の書き方まで、今後必要と思われることは一通りすべてを教えます。厳しいですがついてきて下さい。（呼吸器外科 / 大淵 俊朗）
- ヒルシュブルグ病・直腸肛門奇形・先天性胆道拡張症をはじめ年間約300件の小児外科手術を経験できます。（小児外科 / 浅桐 公男）
- 当科では、乳がんの治療を担当します。診断を正確に行い、手術を含めた様々な治療を選択します。日本人女性の11人に1人は、乳がん罹患するといわれており、やりがいがあります。（乳腺外科 / 金城 和寿）



外科教育担当責任者
谷口 雅彦

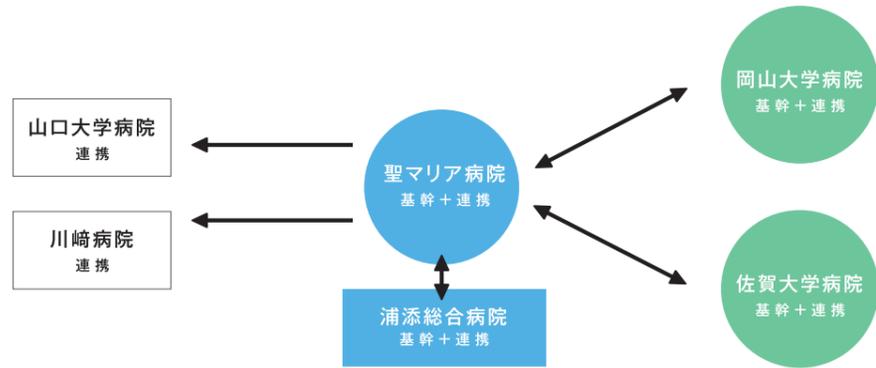
聖マリア病院の外科研修プログラムは、多大学からの外科志望者の参加を歓迎します。地域に根差した救急医療やがん診療に基づく多岐に渡る豊富な症例数を活かし、日帰り手術から、移植医療、ロボット支援手術などの高度先進医療に至るまで、院内の外科系診療科で連携を組んで独自のプログラムを実施しています。また近隣の大学・施設とも連携してacademicな医療を学んで頂き、さらには海外留学も視野に入れ、外科教育の“ハブ空港”として研修終了後の進路にも対応できるよう配慮したプログラムです。

E 救急科専門医研修プログラム Emergency Medicine

救急科 / 集中治療科



詳細はQRコードより
ご覧ください。



● 研修プログラム概要・特徴

日本救急医学会の示す救急科領域研修カリキュラムに沿って、疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技の基準数を経験するため、基幹施設である聖マリア病院と連携施設4施設、関連施設1施設での研修を組み合わせています。

救急科専攻医研修コース(例)	1年目	2年目	3年目
例1	聖マリア病院	連携施設 聖マリア病院	連携施設 聖マリア病院
例2	聖マリア病院	連携施設	聖マリア病院 連携施設



救急科教育担当責任者
古賀 仁士

本研修プログラムの目的は、「地域住民に救急医療へのアクセスを保障し、良質で安心な標準的医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。当院救命センターの特徴として、「初期から三次救急まで全て受け入れる」という事が挙げられます。年間一万台を超える救急搬送があり症例数を考えると3年間で十分な経験を積むことが可能です。

本プログラムでは、患者年齢、患者重症度、診療領域を限定せずすべての救急患者の初期対応、入院の必要性の判断、他科専門医と連携し迅速な診断と治療ができるようになってもらいます。これは医師としての大きな礎ですので、救急専門医取得後転科を考えている先生にも、救急専門医取得後サブスペシャリティーとして他科専門医取得を目指す人にも、必ず将来役に立ちます。将来的に救急を続けて行く人はもちろんのこと集中治療に比重をおいた研修も可能です。

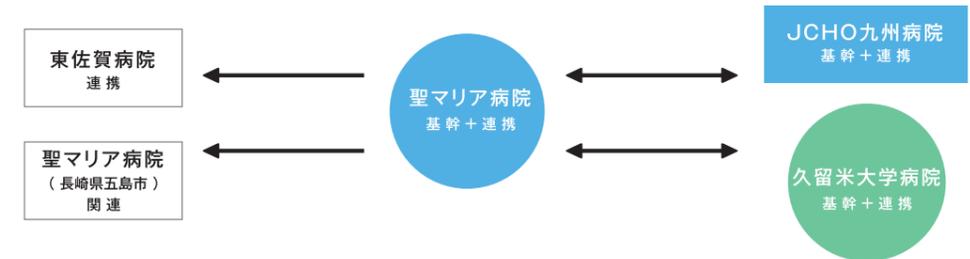
また、従来の救急のイメージと違いon-offをしっかりしたシフトを組んでいるため女性医師でも働きやすい環境を整えています。2019年現在でも2人の女性医師が元気に働いてくれています。このように、個人の事情、将来の目標に合わせる事が可能なフレキシブルなプログラムです。ぜひ一緒に働きましょう。当プログラムへの応募をお待ちしています。

P 小児科専門医研修プログラム Pediatrics

小児科 / 新生児科 / 小児循環器内科



詳細はQRコードより
ご覧ください。



● 研修プログラム概要・特徴

小児科専門プログラムでは、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医を目指します。

連携施設3施設と関連施設1施設にてそれぞれの施設の特徴である領域を、経験豊富な指導医のもとで研修することができます。

小児科専攻医研修コース	1年目	2年目	3年目
例1	聖マリア病院	連携施設	聖マリア病院



小児科教育担当責任者
大部 敬三

今後医師としてどのように生きて行くか、その基盤となるのは初期臨床研修とこの専門医研修だと考えています。様々な疾患に遭遇すること、よい指導者に巡りあうこと、自分自身が現場に立ち会い、考え、行動すること、そのような環境を提供できるプログラムであることを知って頂きたいです。臨床力の基盤となるのは、経験です。重症だけでなく、軽症あるいは健康な子どもを見ることによって形成された正常な子どもの姿が、その後の異常を発見していく基準となります。当院は従来より、全科で初期診療～三次医療が行われており、様々な分野において軽症から重症まで、十分なバックアップ体制、充実したメディカルスタッフの中で経験することができます。専門医研修に適した病院です。多くの方が小児科専門医研修で、医師として基礎を固めたい、一人立ちしたい、後輩の指導ができるようになりたい、興味のある専門分野への取り組みを始めていきたいと考えておられると思います。当院での研修では、豊富な症例数を背景に、充実した指導体制の中で、すべての目標を達成することができます。さらに興味のある方は、東南アジアやアフリカなどの発展途上国での医療協力事業に参加し、国際医療事業への足掛かりを作ることができるでしょう。研修とはいえ、労働基準に定められた規定内での勤務となりますので、良好なQOLを保つことができ、また結婚や出産、子育てを控えた女性医師に、常にやさしい病院です。子育て中の女性指導医のもと、柔軟な研修体制で目標を達成することができます。小児科の専攻医募集人数は二人だけですが、みなさんの聖マリア病院小児科専門医研修プログラムへの応募をお待ちしております。



Step through the door to expert...



S 給料・処遇 Specs

身分 専攻医（常勤）

基本給与 約333,100円
（2018年度実績：専攻医1年次の基準内
給与月額税込、その他手当は下記の通り）

手当 家族手当 / 有
通勤手当 / 有 ※ 自宅から病院までの
通勤距離が2km以上に限る
夜勤手当 / 有
時間外手当 / 有
住宅手当 / 有（入寮者以外の方）

賞与 有

勤務時間 8：30～17：00

休日 4週8休（日曜、祝日含む）
※ 当院は土曜日でも平日勤務体制です。

休暇 有給休暇
※勤務年数による、残日数は翌年度のみ繰り越し、特別休暇

社会保険 組合健康保険 / 雇用保険 / 厚生年金保険 / 労災保険

福利厚生 健康診断（年2回）、職員宿舎、制服貸与、共済会制度、
職員旅行（国内、海外）、企業内保育所、永年勤続表彰

退職金制度 支給条件3年以上

その他 学会・研究会等の補助有り（参加費、旅費支給）、
英文抄録・論文校正料支給

T 病院見学 Tour

当院専攻医希望者の病院見学は、希望診療科の日程が許す限り、
見学者の希望に合わせて日程調整しますので、特に規程の曜日等はありません。
専攻医希望者に対しては、往復の旅費を支給し、宿泊は院内のゲストハウスも用意します。



見学のお申し込みは
こちらから

T 短期海外研修 Train Abroad : The Australia Experience

2018年3月、当院はオーストラリアのブリスベンにあるプリンセス・アレキサンドラ病院（Princess Alexandra Hospital : PAH）と姉妹提携の調印を行いました。今後、医師だけに限らず、看護師・薬剤師・リハビリ・事務系のスタッフも含めた積極的な交流を継続していきます。PAHでは移植外科の世界的権威Prof. Stephen Lynch先生を中心に内科・外科や救急スタッフがとてもフレンドリーに対応してくれます。短期間ですが、当院の専攻医も積極的にチャレンジして欲しいと考えています。

